

障害者政策委員会ワーキング・セッションⅠ：成年後見制度も含めた意思決定支援など

議事次第

平成 27 年 6 月 12 日(金)10:30～12:30
中央合同庁舎 4 号館 408 会議室

- 1 開 会
- 2 第3次障害者基本計画の実施状況について
 - ・成年後見制度も含めた意思決定支援など
- 3 その他
- 4 閉 会

資料 1 都築参考人提出資料

資料 2－1 成年後見関係事件の概況

資料 2－2 後見人等解任事件のうち認容で終局した件数

参考資料 1 障害者政策委員会ワーキング・セッションについて

参考資料 2 障害者政策委員会における第3次障害者基本計画の実施状況の監視に係る今後のスケジュールについて（案）

参考資料 3 障害者政策委員会における第3次障害者基本計画の実施状況の監視について（案）（第20回障害者政策委員会 資料）【抜粋】

障害者政策委員会ワーキング・セッションについて

【ワーキング・セッションⅠ：成年後見制度も含めた意思決定支援など】

○基本計画該当項目：「1. 生活支援」「8. 差別の解消及び権利擁護の推進」

○コーディネーター：田中委員、玉木委員、野澤委員

○参考人：佐藤彰一（国学院大学）、都築美幸（愛知太陽の家）、

細川瑞子（富山育成会）

【ワーキング・セッションⅡ：精神障害者・医療ケアを必要とする重度障害者等の地域移行の支援など】

○基本計画該当項目：「1. 生活支援」「2. 保健・医療」「5. 生活環境」

○コーディネーター：上野委員、大濱委員、川崎委員、平川委員

○参考人：池原毅和（東京アドヴォカシー法律事務所）、

折田みどり（人工呼吸器をつけた子の親の会＜バクバクの会＞）、

竹田保（ホップ障害者地域生活支援センター）、

山本深雪（大阪精神医療人権センター）

【ワーキング・セッションⅢ：インクルーシブ教育システム、雇用など】

○基本計画該当項目：「3. 教育、文化芸術活動・スポーツ等」

「4. 雇用・就業、経済的自立の支援」

○コーディネーター：佐藤委員、柘植委員、辻井委員

○参考人：大南英明（全国特別支援教育推進連盟）、田中伸明（名城法律事務所）、

永野仁美（上智大学）、村上由美（ボイスマネージ）

【ワーキング・セッションⅣ：情報アクセシビリティ】

○基本計画該当項目：「6. 情報アクセシビリティ」

○コーディネーター：石野委員、門川委員、竹下委員

○参考人：近藤武夫（東京大学）、新谷友良（全日本難聴者・中途失聴者団体連合会）、

寺島彰（浦和大学）

※参考人は、五十音順、敬称略、所属は事務局把握によるもの

障害者政策委員会における第3次障害者基本計画の実施状況の監視に係る
今後のスケジュールについて（案）

5月29日（金）13:30～17:30〔4時間〕 <u>第21回政策委員会</u> ロン・マッカラム氏（前国連障害者権利委員会委員長）講演 「1. 生活支援」 「2. 保健・医療」 「3. 教育、文化芸術活動・スポーツ等」 「5. 生活環境」 （※ いずれも、ワーキング・セッションで扱うテーマを除く） 終了後、事務局において「議論の整理案」を作成 6月29日（月）13:30～17:30〔4時間〕 <u>第22回政策委員会</u> 「7. 安心・安全」 「8. 差別の解消及び権利擁護の推進※」 （※ワーキング・セッションで扱うテーマを除く） 「9. 行政サービス等における配慮」 「10. 国際協力」 「IV 推進体制」 →終了後、事務局において「議論の整理案」を作成	5月19日（火） 10:30～12:30 <u>ワーキング・セッションIV①</u> 〔2時間〕 【情報アクセシビリティ】 13:30～15:30 <u>ワーキング・セッションII①</u> 〔2時間〕 【精神障害者・医療ケアを必要とする重度障害者等の地域移行の支援など】 5月22日（金） 10:30～12:30 <u>ワーキング・セッションI①</u> 〔2時間〕 【成年後見制度も含めた意思決定支援など】 14:00～16:00 <u>ワーキング・セッションIII①</u> 〔2時間〕 【インクルーシブ教育システム、雇用など】 6月1日（月） 10:30～12:30 <u>ワーキング・セッションIV②</u> 〔2時間〕 【情報アクセシビリティ】 13:30～15:30 <u>ワーキング・セッションII②</u> 〔2時間〕 【精神障害者・医療ケアを必要とする重度障害者等の地域移行の支援など】 6月5日（金） 13:30～15:30 <u>ワーキング・セッションIII②</u> 〔2時間〕 【インクルーシブ教育システム、雇用など】 6月12日（金） 10:30～12:30 <u>ワーキング・セッションI②</u> 〔2時間〕 【成年後見制度も含めた意思決定支援など】 →終了後、事務局において各ワーキング・セッションの「議論の整理（たたき台）」を作成 →コーディネーターによる確認
---	---

7月上旬	<u>第23回政策委員会</u>〔3時間〕 ・各ワーキング・セッションから議論概要の報告（「議論の整理（たたき台）」の提示） ・意見交換 ➡終了後、事務局において「議論の整理（たたき台）」に修文・追加等を行い、「議論の整理案」を作成
8月上旬	<u>第24回政策委員会</u>〔3時間〕 ・改めて、全分野にわたる再度の議論 ➡「議論の整理（全体版）」のとりまとめ
8月下旬	<u>第25回政策委員会</u>〔3時間〕 ・外務省から政府報告案の提示＋「議論の整理（全体版）」に則り議論
9月下旬	<u>第26回政策委員会</u>〔3時間〕 ・外務省から政府報告案修正版の提示＋「議論の整理（全体版）」に則り議論 ➡「政府報告案」のとりまとめ

障害者政策委員会における第3次障害者基本計画の実施状況の監視について（案）（第20回障害者政策委員会 資料）【抜粋】

1. 基本的な考え方

- （1）障害者権利条約に基づく政府報告の提出等をにらみ、第3次障害者基本計画の実施状況の監視を行う。監視は、分野別施策の基本的方向等に沿って行い、「議論の整理」としてとりまとめる。なお、平成27年度は、第3次基本計画の実施期間の中間年に当たるため、その時点において収集可能なデータに基づいて監視を行うものであり、第3次基本計画の最終的な監視ではない。
- （2）権利条約に基づく政府報告の作成にあたっては、第3次基本計画の実施状況の監視を通じて、当委員会から意見を聴取し、反映する。
- （3）監視を行うにあたっては、
 - ① 重複障害、発達障害、新たに法律で位置づけられた「難病」という分野にも十分留意し、また、女性・子ども・高齢化といった横断的な視点にも立って行う。
 - ② 可能な限り、地域における障害者を取りまく状況の差異という視点も踏まえて行う。
- （4）特に、議論を深めるべきテーマについては、別途、ワーキング・セッションを開催して議論し、その成果を「議論の整理（たたき台）」としてとりまとめ、委員会での議論の基礎とする。

2. ワーキング・セッションの開催について

- （1）政策委員会の委員は、いずれのセッションにも自由に参加できる。
- （2）各ワーキング・セッションには、政策委員会の委員から3名前後のコーディネーターを選び、議論にご参加いただく有識者、精神障害・知的障害のあるご本人などの参考人（3名以内）の候補を推薦いただくとともに、当日の司会進行について一任。
- （3）各ワーキング・セッションは、その成果を「議論の整理（たたき台）」として作成、委員会へ報告し、委員会において議論の上、とりまとめにつなげる。
- （4）ワーキング・セッションの時間は、各回2時間とし、開催回数は、各ワーキング・セッションにつき1～2回とする。

第1回：関係省庁の説明（約15分）、参考人からのヒアリング、質疑応答・意見交換。

第2回：意見交換を重ね、「議論の整理（たたき台）」を作成。